

中央新幹線品川・名古屋間工事実施計画（その1）

1. 路線名 中央新幹線
2. 工事の区間 品川・名古屋間
3. 線路の位置 添付図面のとおり
4. 線路延長 285km605m
5. 停車場の位置

名称	位置	記事
品川	東京都港区港南	品川駅併設
神奈川県（仮称）	神奈川県相模原市緑区橋本	
山梨県（仮称）	山梨県甲府市大津町字入田	
長野県（仮称）	長野県飯田市上郷飯沼	
岐阜県（仮称）	岐阜県中津川市千旦林字坂本	
名古屋	愛知県名古屋市中村区名駅	名古屋駅併設

6. 車庫施設及び検査修繕施設の位置

名称	位置	記事
関東車両基地（仮称）	神奈川県相模原市緑区鳥屋	
中部総合車両基地（仮称）	岐阜県中津川市千旦林	

(山岳トンネル)

大土被りとなる南アルプス隧道（仮称）等については、坑内からの長尺水平ボーリングや先進坑等により地質を確認しながら、適切な工法を用いて施工する計画である。

(トンネル湧水)

水資源に影響を及ぼす可能性のある大井川等については、河川流量観測を実施するとともに、トンネル貫通までの間に、トンネル坑内湧水量と河川流量との関係进行分析し、必要に応じて代替水源の確保を行う計画である。

(建設発生土)

建設発生土については、本事業内での再利用を図る他、関係自治体等の協力を得て他の公共事業や民間事業での有効利用を図るなど、適切に取り扱う計画である。

また、建設発生土の運搬に当たっては、地域住民の生活環境への影響を低減する方法を用いる計画である。

(汚染土壌)

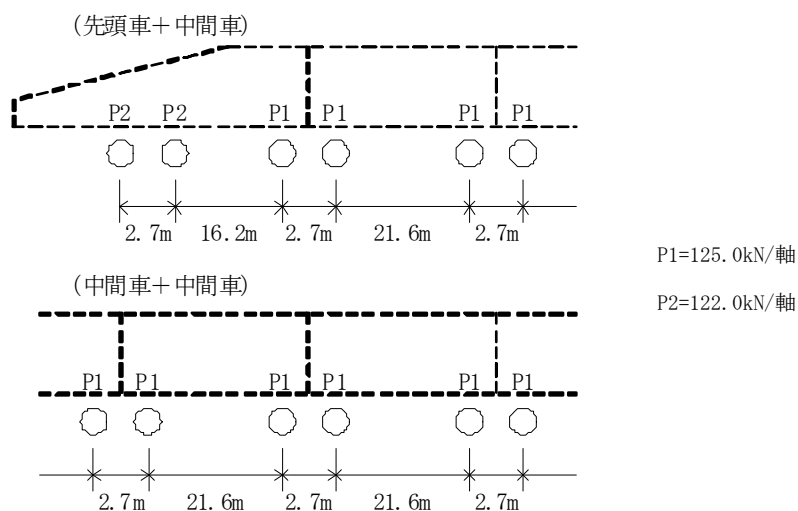
自然由来の重金属等による汚染のおそれのある土壌については、関連法令等に基づき、管理及び処理する計画である。

8. 工事予算 別紙のとおり

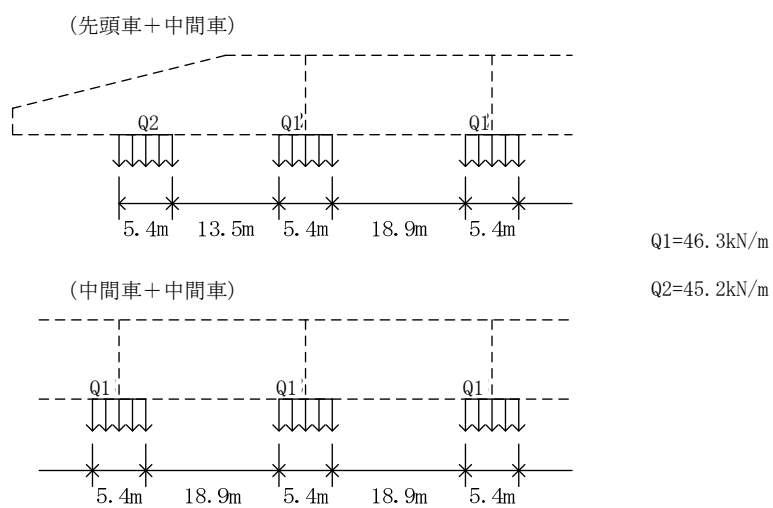
9. 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定	認可の日
完了予定	平成39年

(1) 標準列車荷重 (車輪走行時)



(2) 標準列車荷重 (浮上走行時)



別 紙
第 1 号様式

中央新幹線線品川・名古屋間（延長 285km605m）工事費予算書

項 目	金 額	備 考
	千円	
用 地 費	3 4 2, 0 4 0, 0 0 0	
路 盤 費	1 1 0, 0 9 0, 0 0 0	
橋 梁 費	2 9 2, 2 0 0, 0 0 0	
隧 道 費	1, 6 2 1, 9 6 0, 0 0 0	
軌 道 費	7 2 4, 3 6 0, 0 0 0	
停 車 場 費	5 2 0, 6 0 0, 0 0 0	
車庫・検査修繕施設費	—————	
諸 建 物 費	—————	
電灯・電力線路費	—————	
通 信 線 路 費	—————	
運 転 保 安 設 備 費	—————	
防 護 設 備 費	3, 7 8 0, 0 0 0	
連 絡 設 備 費	—————	
電 車 線 路 費	—————	
発 電 所 ・ 変 電 所 費	1 8 5, 5 9 0, 0 0 0	
小 計	3, 8 0 0, 6 2 0, 0 0 0	
工 事 用 建 物 費	9 7 0, 0 0 0	
工 事 用 機 械 費	1 3, 6 3 0, 0 0 0	
工 事 附 帯 費	2 0 0, 6 0 0, 0 0 0	
小 計	2 1 5, 2 0 0, 0 0 0	
計	4, 0 1 5, 8 2 0, 0 0 0	
車 両 費	—————	
合 計	4, 0 1 5, 8 2 0, 0 0 0	
1 km 当たりの工事費 (車両費を除く。)	1 4, 0 6 0, 0 0 0	

※ 消費税は含まない。

※ 現時点での総工事費：5, 5 2 3, 5 5 0, 0 0 0 千円（車両費を含む。山梨リニア実験線既設分は除く。）